



ZERO

2021年6月期
決算説明資料
(2020年7月~2021年6月)

2021年8月5日
株式会社ゼロ 代表取締役社長
北村 竹朗

◆ 目次

① 2021年6月期の振り返り

- 2021年6月期の国内自動車総市場
- 2021年6月期の業績概要と業績分析

② 2022年6月期の展望

- 2022年6月期の業績予想とその前提

◆ 目次

① 2021年6月期の振り返り

- 2021年6月期の国内自動車総市場
- 2021年6月期の業績概要と業績分析

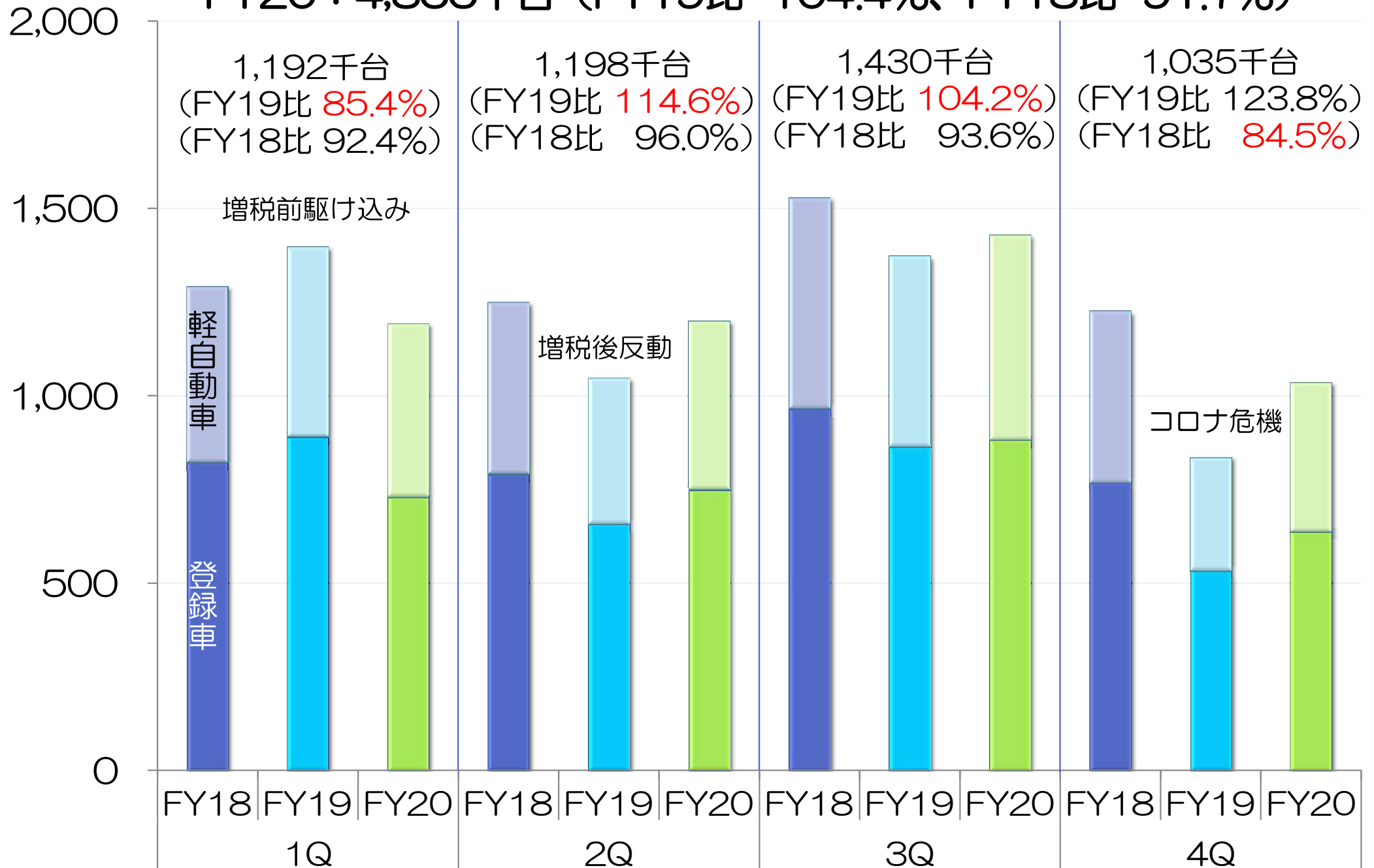
② 2022年6月期の展望

- 2022年6月期の業績予想とその前提

（出典：自工会、自販連、全軽自協）

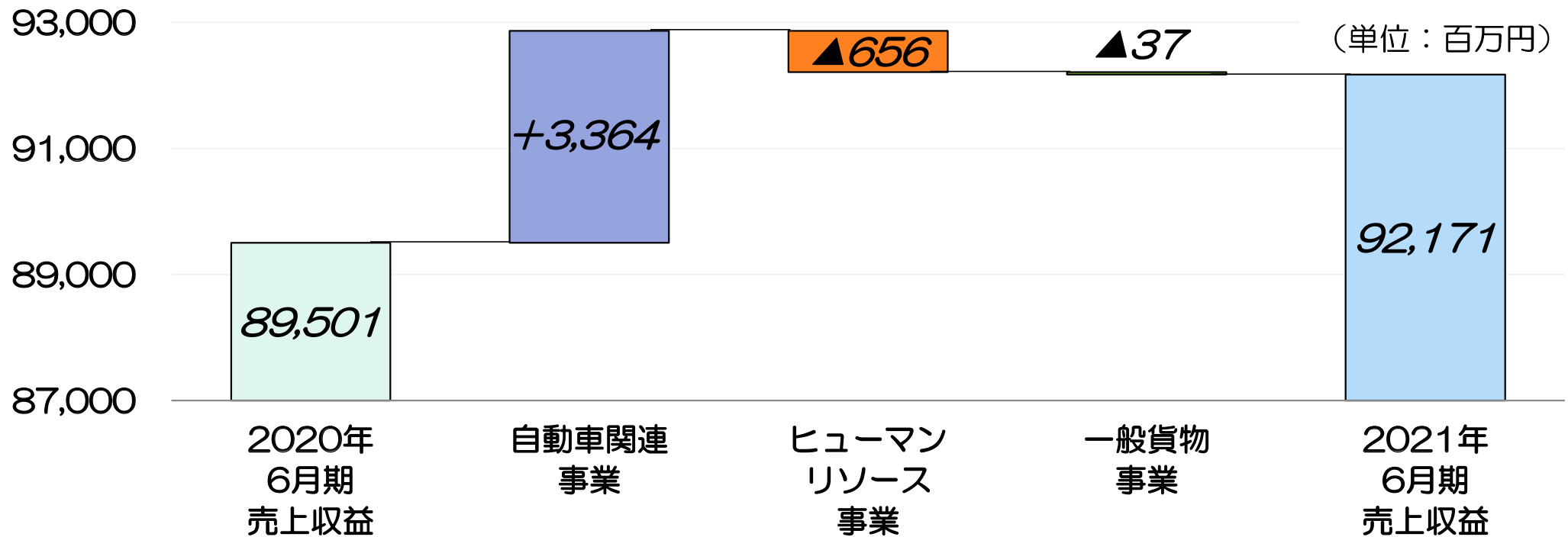
（単位：千台）

FY20：4,855千台（FY19比 104.4%、FY18比 91.7%）



(単位：百万円)	2019年 6月期 実績	2020年 6月期 実績	2021年 6月期 実績	前年実績 との差異	2021年 6月期 業績予想
売上収益	90,228	89,501	92,171	+2,670	92,000
営業利益 (営業利益率)	3,305 (3.7%)	3,675 (4.1%)	5,332 (5.8%)	+1,657	5,500 (6.0%)
税引前利益	3,294	3,679	5,373	+1,694	5,500
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,658	2,374	3,626	+1,252	3,800
基本的1株あたり 当期利益	99.74円	142.30円	216.55円	+74.25円	226.94円
年間配当金	24.9円	35.6円	54.1円	+18.5円	56.7円

- 営業利益におけるコメント：前年に対しては、CKDの損失解消、輸送ブロック会社の損益改善、雇用調整助成金計上が寄与して大幅に増益となったが、業績予想に対しては、半導体不足による自動車減産の影響が想定以上にあったことに加えて、愛媛県今治沖の自動車運搬船海難事故発生に伴い損失を計上したことによって、未達となった。



自動車関連事業 89,501 → 92,171

➤ 車両輸送事業における増収	+1,600
➤ 自動車周辺事業における減収	▲500
➤ 中古車輸出事業における増収	+2,270

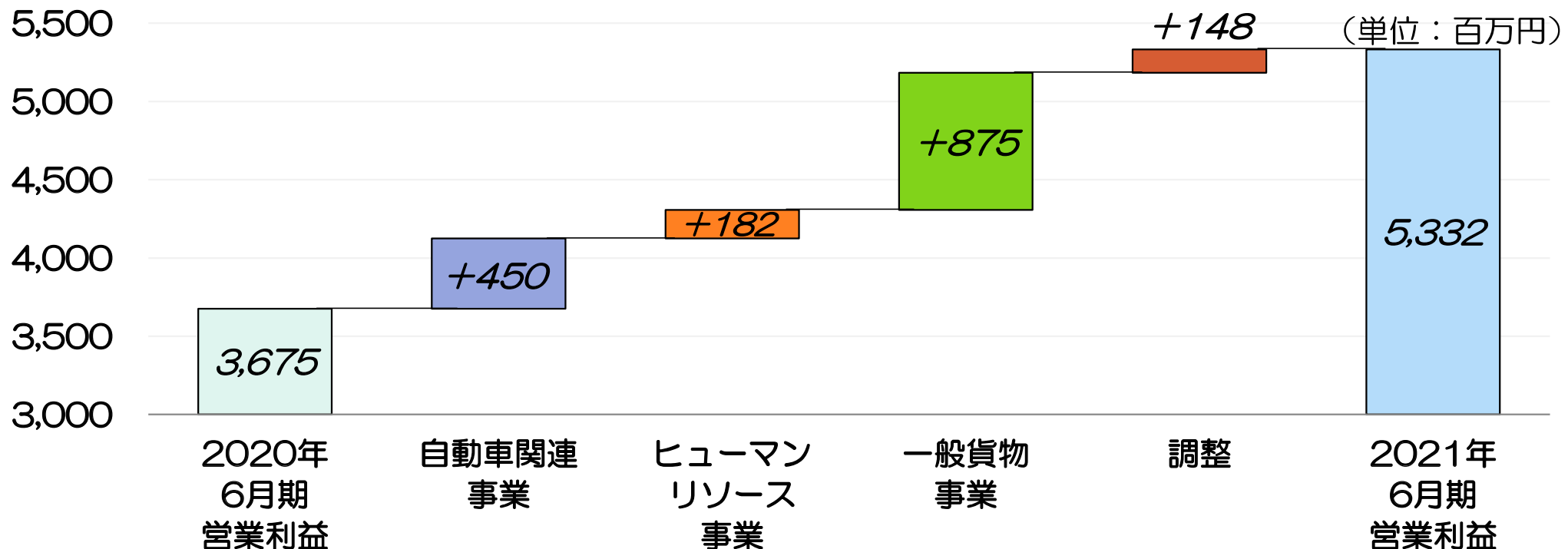
一般貨物事業 6,222 → 6,185

➤ 運輸・倉庫事業における増収	+70
➤ 港湾荷役事業における増収	+270
➤ CKD事業における減収	▲380

ヒューマンリソース事業 18,603 → 17,946

➤ 送迎事業における増収	+670
➤ 派遣事業における減収	▲1,120
➤ 空港関連人材事業における減収	▲210

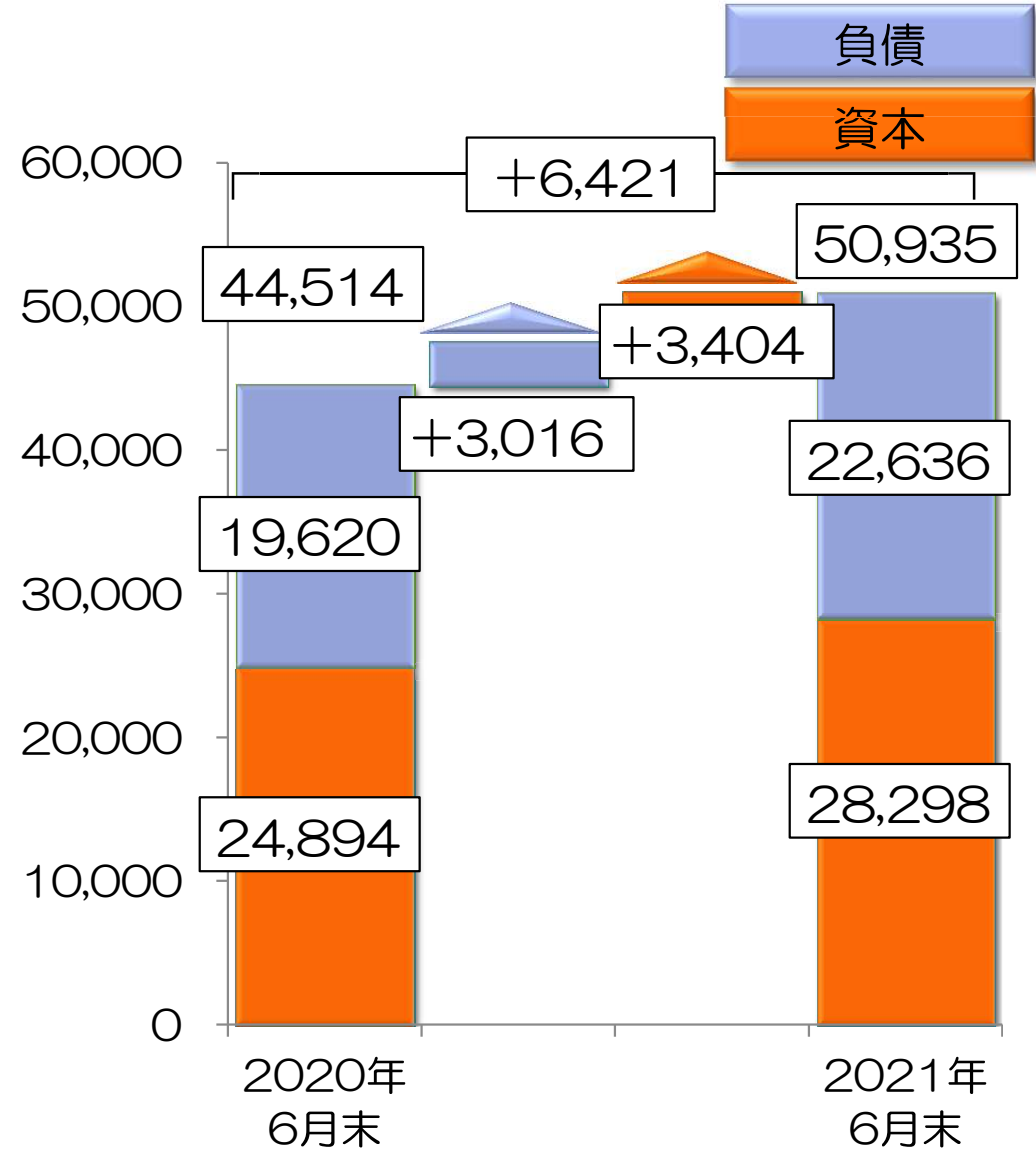
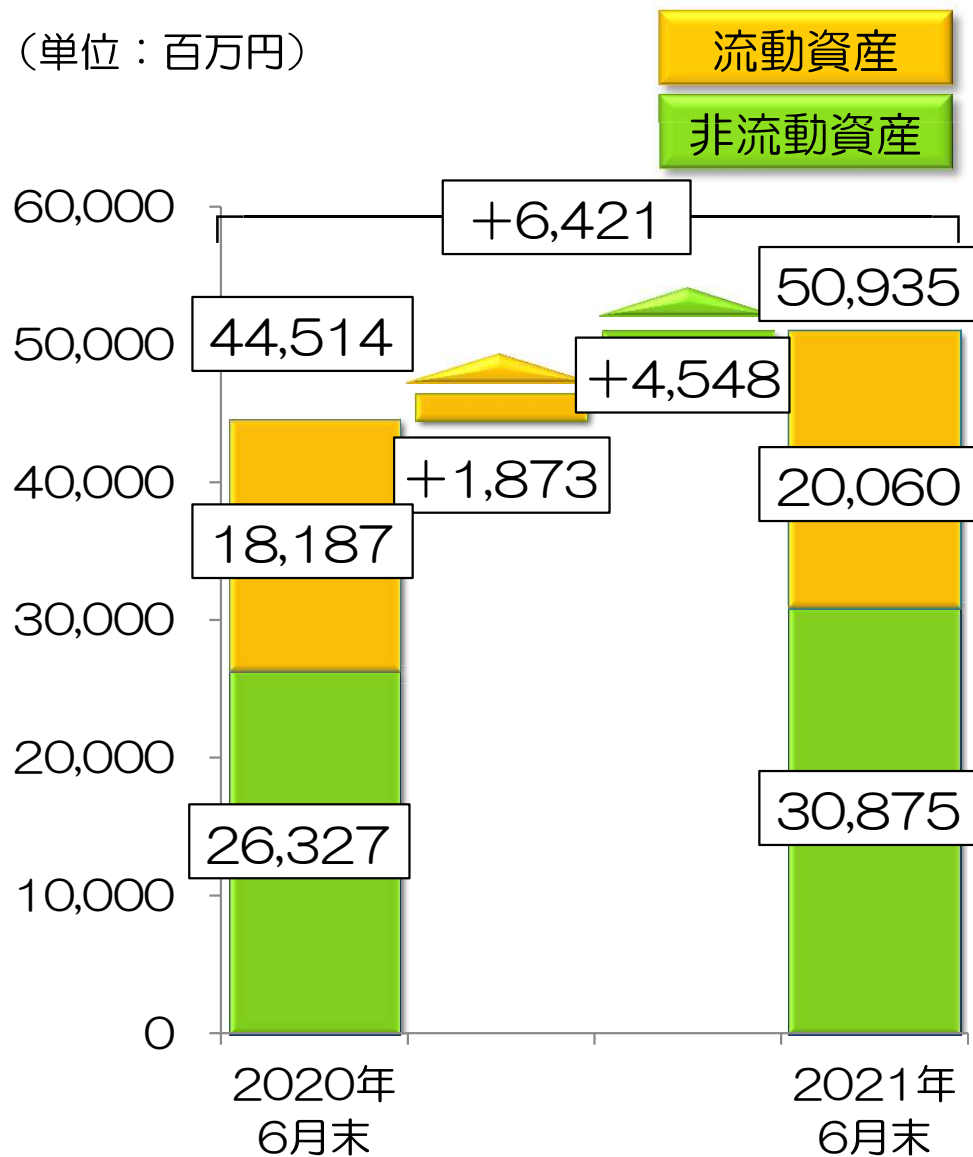
2021年6月期の業績概要と業績分析 ③ 業績分析（営業利益）



自動車関連事業	5,426 → 5,876
車両輸送事業の増収に伴う増益	+260
輸送ブロック会社の損益改善	+350
燃料単価の下落	+50
SOx規制強化による海上運賃上昇	▲160
今治沖自動車運搬船海難事故の損失	▲90
① 車両輸送事業の増益（上述合算）	+410
② 自動車周辺事業の減収に伴う減益	▲100
③ 中古車輸出事業の増益	+140

ヒューマンリソース事業	650 → 833
➤ ヒューマンリソース事業の減収影響	▲130
➤ 経費削減・雇用調整助成金	+310
一般貨物事業	▲188 → 687
➤ 運輸・倉庫事業における増益	+80
➤ 港湾荷役事業における増益	+100
➤ CKD事業における損失解消	+690
調整	▲2,212 → ▲2,065
➤ 一般管理費減少	+150

(単位：百万円)



- 流動資産 : 現金増加、営業債権増加
- 非流動資産 : 有形固定資産増加

- 負債 : リース債務増加
- 資本 : 利益剰余金増加

(単位：百万円)

	2020年 6月期	2021年 6月期	増減額	コメント
営業CF	6,538	8,594	+2,056	
当期利益	2,387	3,614	+1,227	当期利益の増加
減価償却費および償却費	4,188	4,581	+393	輸送機材の増車
その他	▲37	399	+436	営業債務の増加
投資CF	▲2,067	▲3,104	▲1,037	
有形固定資産等の取得	▲1,889	▲2,968	▲1,079	輸送機材の増車
その他	▲178	▲136	+42	
財務CF	▲3,157	▲4,364	▲2,719	
リース債務の支払	▲3,209	▲3,287	▲78	IFRS16号によるもの
短期借入金の減少	800	▲435	▲1,235	
その他	▲747	▲641	+106	

◆ 目次

① 2021年6月期の振り返り

- 2021年6月期の国内自動車総市場
- 2021年6月期の業績概要と業績分析

② 2022年6月期の展望

- 2022年6月期の業績予想とその前提

(単位：百万円)	2021年 6月期 実績	2022年 6月期 業績予想	前年差	前年比
売上収益	92,171	95,000	+2,829	103.1%
営業利益 (営業利益率)	5,332 (5.8%)	4,750 (5.0%)	▲582	89.1%
税引前利益	5,373	4,750	▲623	88.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,626	3,200	▲426	88.3%
基本的1株あたり 当期利益	216.55円	191.09円	▲25.46円	88.2%
年間配当金	54.1円 内) 中間：15.0円	47.8円 内) 中間：15.0円	▲6.3円	88.4%

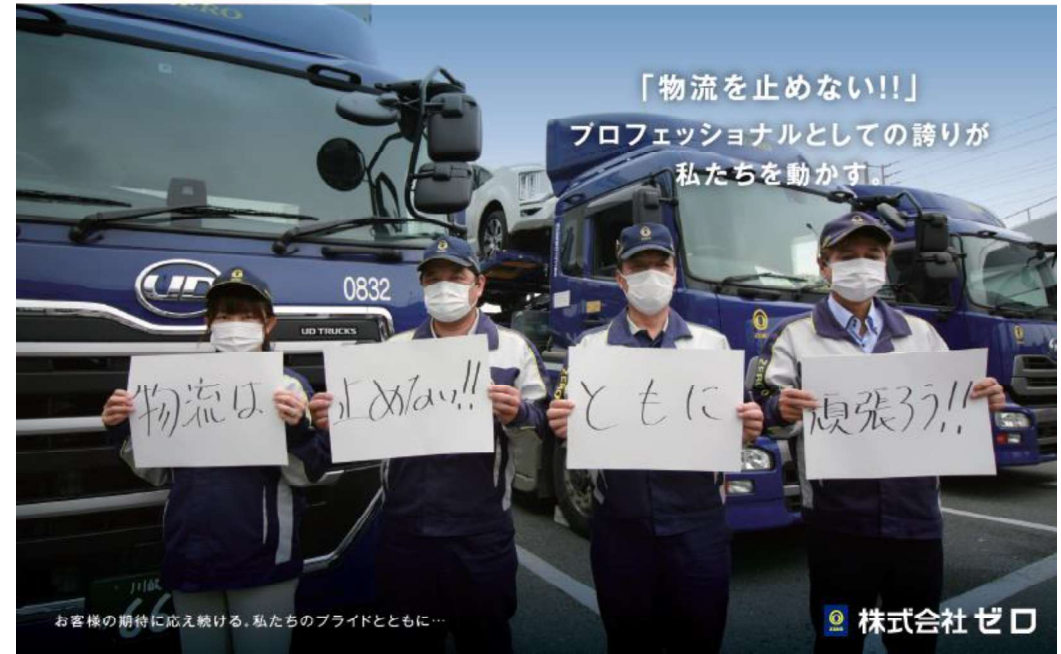
業績予想の前提

- 新型コロナウイルスの影響から緩やかな回復を見込む。
- 陸友物流（北京）有限公司の連結化により、同社の売上収益・営業利益が純増。
- 2021年内は半導体不足と東南アジアにおける新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う自動車部品供給不足により、自動車減産の影響を受けることを想定。
- 雇用調整助成金が剥落。
- 燃料費単価の上昇トレンドを反映。

おかげさまで **60**周年 明日へ繋げる、未来へ届ける。



おかげさまで **60**周年 明日へ繋げる、未来へ届ける。



ZERO to **60**th
TOWARD 2021
はこぶ つながる 皆様とともに!

2021年10月 創立60周年